

7. 本時のねらい

観察メモの例から、さらに詳しく表現できることを知り、自分の観察メモをより詳しくすることができる。

8. 本時の展開

	主な学習活動	指導・援助	留意点
つかむ	<p>これまで学習した、観察するポイントについて確認する。 「観察名人になるには、どんなわざが大事でしたか。」 ・目や鼻や手を使ってくわしくすること。</p> <p>本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>わざに、さらにみがきをかけよう！</p> </div> <p>「今日は、前の時間に勉強した観察名人のわざに、さらにみがきをかけていよ。」</p>	<p>学習を振り返りやすくするため、二つのわざについて掲示しておく。</p>	
ふかめる	<p>例を見ながら、視点がさらに詳しく書けることを理解する。 「前の時間に、わざを使って観察メモを分けた人が、こんなふうに分けた人がいたよ。」 「前の時間に学習したわざが使っているね。でも、まだ詳しくできるところがあると思います。」</p> <p>表現を工夫して書くということを意識して、もう一度観察し、さらにメモを詳しくする。 「もう一度観察して、前よりもっと詳しくなるようにメモを書いてみよう。」</p>	<p>前時の観察メモを取り上げて、視点ごとに分類してあることを確認する。 分類してあるメモについて、表現を工夫することでさらに詳しくできるように具体的な例を挙げ、いくつか直してみる。 みどり…どんなみどりか 大きさ…どんな大きさかなど</p>	<p>実際に例をつかってみんなで一緒に考える。</p> <p>詳しくできそうなメモの番号の上に印をつける。</p>
まとめる	<p>表現を工夫して書くということを意識して、もう一度観察し、さらにメモを詳しくする。 「もう一度観察して、前よりもっと詳しくなるようにメモを書いてみよう。」</p> <p>詳しくなった観察メモについて発表する。 「前のメモよりどんなふうにならなくなったか教えてください。」</p> <p>表現を詳しくすると、よく伝わることを理解する。 「こんなふうにならなくなると、もっとミニトマトのことがよく分かるね。ますます観察名人に近づいたね。」</p>	<p>付け加えたメモをノートに書き込ませる。 メモが進まない児童には、声をかけ、どのようなことに目を向け、書けばよいのかアドバイスをする。</p> <p>前のメモと比べながら板書する。</p> <p>観察メモが変化したことを確かめながら、学習したことを押さえる。</p>	<p>ノートへの書き込み方について確認しておく。 それぞれ、実際に観察を行う。(グループに一つミニトマトを準備しておく。)</p> <p>発表できた児童について認め、価値付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>評価規準 自分の観察メモをさらに詳しい表現で書くことができる。</p> </div>